

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Liebeおおがま		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 26年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちからの満足度が高く、「いきたい!」「次いつ?」といったお言葉をいただきやすい。	子どもが喜ぶようなイベントを考えたり、職員同士の雰囲気や 険悪にならないように日頃からの連携を密に取っている	レクリエーションの幅を広げることや、個々の特徴を把握して それぞれの児童が喜ぶ遊びなどを今後も取り入れていきたい。
2	事故発生時の早期対応ができています	有事の際には、すぐに行動できるようにマニュアルを作成し、 それに沿って行動できるように周知されている。	発生事例をもとに、振り返りや事例検討を行うことで 再度発生してしまった場合にも早期対応をできるように準備 をする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士のつながりを持つ場の創出が出来ていない	親子イベントなどを企画するが、保護者同士のみの時間を作れ ておらず、関係性が希薄な印象が見られる。	親子イベントの他に、保護者に対するペアレントトレーニング の場や交流を深める場を企画していく必要がある。
2	地域とのつながりが希薄である	地域とのつながりが弱く、家庭と本児の通う場所のみになって しまっている。	地域のボランティアを呼んでの交流イベントを企画したり、 学校に赴き教職員との連携を取ることで、児童や保護者のつ ながりの幅を広げていく。
3			